

産業廃棄物処理計画書 令和7年6月17日 山口県知事 殿 提出者 住 所 山口県防府市鐘紡町3番1号 氏 名 防府エネルギーサービス株式会社 代表取締役社長 宮田 裕史 電話番号 0835-25-6855 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	防府エネルギーサービス株式会社
事業場の所在地	防府市鐘紡町3番1号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	発電所
②事業の規模	860,481万円
③従業員数	34人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 産業廃棄物の種類別発生・処理状況のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 廃棄物処理統括責任者 (代表取締役 社長) 廃棄物処理責任者 (業務管理グループ長) 廃棄物管理担当者 廃棄物技術管理者 廃棄物担当ライン			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	排 出 量	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	排 出 量	別紙2のとおり	別紙2のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 燃え殻・汚泥・廃油は分別し、再生利用出来るものと出来ないものに 分けて保管を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に同じ。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	389 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水設備の維持管理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	368 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記に同じ。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	別紙3のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙4のとおり	別紙4のとおり
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【産業廃棄物の種類別発生・処理状況】

(令和 6 年度実績)

廃棄物の種類		性状	処理方法	排出量 (ton) (構成比)
燃え殻	石炭灰	泥状	発電用石炭ボイラーの石炭灰(ボトムアッシュ)で、中間処分業者に委託してセメント原料として再生利用する。	3,177.45 (14.519%)
ばいじん	集塵ダスト	粉状	発電用石炭ボイラーの電気集塵機及びバグフィルターで捕集したばいじん(フライアッシュ)で、中間処分業者に委託してセメント原料及び外壁材・路盤材として再生利用する。	17,479.66 (79.870%)
汚泥	浄水汚泥	泥状	貯水池の凝集沈殿槽で発生したフロックを遠心分離機にて泥状で取り出し、自然乾燥させたのち中間処分業者に委託してセメント原料として再生利用する。	420.20 (1.920%)
汚泥	脱水汚泥	泥状	フッ素処理設備で発生したフロックを脱水機にて脱水、中間処分業者に委託しセメント原料として再生利用する。	732.29 (3.346%)
汚泥	汚泥	泥状	タンク内部点検で発生した廃棄物。 脱水・乾燥・混合後、セメント原料として再生利用する。	9.16 (0.042%)
ガラ・陶	ガラス陶磁器くず	固形状	発電設備の清掃・補修等で発生した廃棄物 圧縮 中間処理	0.20 (0.001%)
燃え殻	焼却灰	泥状	発電設備の清掃・補修等で発生した廃棄物 篩分・混合 中間処理	20.52 (0.094%)
廃プラ	混合廃棄物	固形状	発電設備の補修等で発生した廃棄物 圧縮 中間処理	5.94 (0.027%)
木屑	木屑	固形状	発電設備の清掃・補修等で発生した廃棄物 圧縮 中間処理	26.37 (0.120%)
金属くず	金属くず	固形状	発電設備の補修等で発生した廃棄物 回収及び精錬後、再生利用	2.26 (0.010%)
廃プラ	廃プラ	固体状	発電設備の補修等で発生した廃棄物 圧縮 中間処理	11.11 (0.051%)
合 計				21,885.16

(今後実施する予定の取組)

高発熱量・低灰分の石炭を調達し、単位生産量当たりの燃え殻・ばいじん量を削減する。

		【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】					
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	ばいじん	汚泥	混合廃棄物	木くず	廃プラ
	排出量（ton）	3,197.97	17,479.66	1,161.65	5.94	26.37	11.11
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器				
	排出量（ton）	2.26	0.20				
	（これまでに実施した取組）						
	空気比等の管理基準を遵守してボイラーで石炭が完全燃焼するよう努め、未燃分による燃え殻・ばいじんの発生を抑制した。						
② 計画	【目標 令和7年度 】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	ばいじん	汚泥	廃油		
	排出量（ton）	3,300	17,000	1,188	5		

		産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状		【前年度（令和6年度）実績】						
		産業廃棄物の種類	燃え殻	ばいじん	汚泥	混合廃棄物	木くず	廃プラ
		全処理委託量（ton）	3,197.97	17,479.66	773.09	5.94	26.37	11.11
		優良処理認定業者への 処理委託量（ton）	47.66		40.80			5.51
		再生利用業者への 処理委託量（ton）	3,197.97	17,479.66	773.09	5.94	26.37	11.11
		認定熱回収業者への 処理委託量（ton）						
		産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器				
		全処理委託量（ton）	2.26	0.20				
		優良処理認定業者への 処理委託量（ton）						
		再生利用業者への 処理委託量（ton）	2.26	0.20				
		認定熱回収業者への 処理委託量（ton）						
		（これまでに実施した取組）						
		・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施。						
		・マニフェストの管理徹底を実施。						

②計画	【目標 令和7年度】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻	ばいじん	汚泥	廃油
	全処理委託量 (ton)	3,300	17,000	820	5
	優良処理認定業者への 処理委託量 (ton)			30	5
	再生利用業者への 処理委託量 (ton)	3,300	17,000	820	5
	認定熱回収業者への 処理委託量 (ton)				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (ton)				
	(今後実施する予定の取組)				
	可能な限り優良認定処理業者から選定する。				

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(2025年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	防府エネルギーサービス株式会社	所在地(市町名)	防府市鍵紡町	事業の種類	発電所
-------------	-----------------	----------	--------	-------	-----

区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻	3,197.97	3,300									3,197.97	3,300	47.86		3,197.97	3,300				
	汚泥	1,181.85	1,188					388.56	388.00			773.09	820	40.80	30	773.09	820				
	廃油		5									0.00	5		5		5				
	廃酸											0									
	廃アルカリ											0									
	廃プラスチック類	11.11										11.11		5.51		11.11					
	紙くず											0									
	木くず	26.37										26.37				26.37					
	繊維くず											0									
	動植物性残さ											0									
	動物系固形不燃物											0									
	ゴムくず											0									
	金属くず	2.26										2				2.26					
	安定型混合廃棄物	5.94										5.940				5.94					
	ガラス・コンクリート・陶磁器類	0.20										0				0.20					
	がれき類											0.00									
	動物のふん尿											0									
	動物の死体											0									
	ばいじん	17,479.66	17,000									17,479.66	17,000			17,479.66	17,000				
	13号廃棄物											0									
計 (A)		21,885.16	21,493	0	0	0	0	389	368	0	0	21,496.60	21,125	93.97	35	21,496.60	21,125	0	0	0	0